

編集後記

2011年3月11日から4年経とうとしています。あの東日本大震災からの復興や東京電力福島第1原子力発電所事故の解決は、なかなか前に進んでいないように思えます。時が経つにつれて、当時の想いが薄れていくことを恐れています。

2014年9月27日には御嶽山噴火による災害で60名を超える死者・行方不明者が出ました。心よりご冥福をお祈りします。

資料集を編纂するこの時期は、毎年雪について思いを巡らします。今冬、北海道には幾度か爆弾低気圧が来襲し道東地方に大きな被害をもたらしました。新千歳空港でも雪による機能低下で欠航が頻発したものです。そんな季節がめぐる山々の積雪も春を待っています。

16回目となるフォーラムで配布する資料集は、毎年継続して寄稿頂いている山域が軸にすわっています。今回も利尻山山岳年報として利尻山のこの1年を知らせて頂きました。日高・幌尻岳の山岳環境問題で山荘トイレ排泄物担ぎ下ろしを10年間継続してきた活動の最終報告があります。本当に御苦勞さまでした。

北海道内の情報としては、ご苦勞が続く黒岳バイオトイレの運用状況の紹介、知床での携帯トイレの状況、大雪山国立公園パークボランティアの皆さんの活動、新しく運用開始となった羊蹄山避難小屋トイレのこと等盛り沢山です。

本州からは、長年の活動が実現した早池峰山での携帯トイレ専用の山について紹介です。山岳トイレ建設を進めてこられた九州福岡の英彦山に関わる皆さんの様子、四国愛媛県石鎚山の皆さんの様子が伝わります。屋久島の山岳トイレは苦勞をされている様子です。なんとか改善して役割を発揮するようになって欲しいと願っています。

世界遺産・富士山についての寄稿も頂きました。

全国のいろいろな地域の皆さんのことや山域での情報を紹介することは、私達の役割となり、活動の励みとなっています。本資料集に寄稿頂きました皆様、お忙しいなか本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この16回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役にたてるようにと願っています。

(小枝 正人)

禁複製